

PRESS RELEASE

2015年3月19日
株式会社三菱総合研究所

日銀短観（2015年3月調査）予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）では、4月1日（水）に日本銀行より発表される予定の「企業短期経済観測調査（日銀短観）2015年3月調査」の業況判断DIについて予測を行った。

大企業・全産業の業況判断DI	————	+ 16%ポイント（12月調査比 +2%ポイント）
同・製造業の業況判断DI	————	+ 15%ポイント（12月調査比 +3%ポイント）
同・非製造業の業況判断DI	————	+ 16%ポイント（12月調査比 変化なし）

業況判断DI（大企業・全産業）は、+16%ポイント（前回12月調査から+2%p上昇）と2期連続の上昇を予想する。消費税増税後の反動減の影響が和らぎつつあるほか、生産の持ち直しや原油安の波及などを背景に、製造業を中心に業況改善を予測する。

製造業の業況判断DI（大企業）は、+15%ポイント（前回調査から+3%p上昇）と予測する。輸出・生産の持ち直しや、円安定着による企業収益環境の改善から、加工業種を中心に業況改善を予想する。原油安による燃料費や原材料費の低下も、幅広い業種で業況改善に寄与するとみられる。

非製造業の業況判断DI（大企業）は、+16%ポイント（前回調査から変化なし）と予測する。国内消費の持ち直しや海外からの観光客増加は、小売業やサービス業を中心に業況改善要因となろう。運輸や電力では、原油安が業況改善に寄与するとみられる。一方、人手不足やそれに伴う人件費の上昇が経営環境の下押し圧力になるとみられ、非製造業全体としては横ばいを予測する。

先行きの業況判断DI（大企業）は、雇用・所得環境の改善から消費が緩やかに回復するとみられるほか、企業の投資意欲も堅調さを維持していることから、製造業は+17%ポイント、非製造業は+17%ポイントといずれも小幅改善を予想する。

日銀短観（2015年3月調査）業況判断DI 予測結果

「良い」-「悪い」 単位：%ポイント		実績			予測	
		2014年 6月	2014年 9月	2014年 12月	2015年 3月	2015年 6月
		6月調査 「最近」	9月調査 「最近」	12月調査 「最近」	3月調査 「最近」	3月調査 「先行き」
大企業	全産業	16	13	14	16	17
	製造業	12	13	12	15	17
	非製造業	19	13	16	16	17
中堅企業	全産業	9	6	7	8	8
	製造業	8	5	7	9	10
	非製造業	10	7	7	7	7
中小企業	全産業	2	0	0	0	▲1
	製造業	1	▲1	1	2	2
	非製造業	2	0	▲1	▲2	▲3

注1：シャドー部分が2015年3月調査の予測値。

注2：「先行き」は、調査時点から3か月後を表す。

資料：実績は日本銀行「企業短期経済観測調査」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
 政策・経済研究センター 森重彰浩 田中康就 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp
 広報部 峰尾 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp
 尚、本資料は、内閣府記者クラブ、金融記者クラブに配布致します。